

東北地域タマネギ栽培セミナー2025
東北タマネギ生産促進研究開発プラットフォーム公開セミナー
開催要領

農研機構東北農業研究センター
所長 川口健太郎

1. 趣 旨

国産タマネギの周年供給力の強化に向け、夏季の端境期出荷が可能な東北地域等への新たなタマネギ産地の拡大に期待が寄せられている。これに対して東北地域のタマネギ生産拡大に向け、「東北タマネギ生産促進研究開発プラットフォーム」が設立され、産地形成の取り組みを行っているが、東北地域のタマネギ生産は、定植・収穫作業の適期が北海道や西日本よりも短く、大規模になるほど適期作業を行うことが難しく、また、担い手が減少するなか、新規就農者が参入するハードルも高い。これらの課題に対応するために、本セミナーでは新たな栽培法について紹介し、あわせてスマート農業技術を活用した栽培技術開発の現状について報告し、東北地域におけるタマネギ栽培の発展方向について議論する。

2. 開催日時 令和7年1月17日（金）13:00 ～ 16:30

3. 開催場所 いわて県民情報交流センター「アイーナ」7階 小田島組☆ほ～る
岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号

4. 共 催 農研機構東北農業研究センター、東北地域農林水産・食品ハイテク研究会、東北タマネギ生産促進研究開発プラットフォーム

5. 定 員 400名

6. 内 容

司会 農研機構東北農業研究センター 事業化推進室長 柴 伸弥

1) 挨拶 13:00-13:20
農研機構東北農業研究センター 所長 川口 健太郎
みらい共創ファーム秋田 代表 涌井 徹

2) スマート農業技術活用促進法について 13:20-13:50
東北農政局生産部環境・技術課 課長補佐（新技術実装） 木村 智

3) 新たなタマネギ栽培技術の開発状況
(1) 秋田県産タマネギの生産性改善による自給率向上モデル実証 13:50-14:10
農研機構東北農業研究センター畑作園芸研究領域 研究員 林 智仁

(2) タマネギベと病菌の生態と防除について 14:10-14:30
農研機構東北農業研究センター畑作園芸研究領域 研究員 川邑 菜々美

(3) 春秋タマネギのセット栽培という新たな技術体系とセット球植付機の開発 14:30-14:50
双日株式会社 農業・地域事業開発室 農業開発課 課長補佐 久世 修一郎
農研機構東北農業研究センター畑作園芸研究領域 研究員 兒玉 巽

(4) 産地ネットワーク構築に向けたタマネギ生産管理のDX化 14:50-15:10
農研機構東北農業研究センター畑作園芸研究領域 主任研究員 山本 岳彦

(休憩 15:10-15:20)

4) パネルディスカッション 15:20-16:30
座長 農研機構東北農業研究センター畑作園芸研究領域長 塚崎 光

7. 参集範囲

農林水産省、東北タマネギ生産促進研究開発プラットフォーム会員、生産者、農業関係団体、行政機関、普及指導機関、試験研究機関、民間企業、農研機構、その他主催者が必要と認める者

8. 連絡先

事務局：農研機構東北農業研究センター 研究推進部事業化推進室 田宮・東山
TEL：019-643-3412 または 3460 FAX：019-641-7794
e-mail: onion2025@ml.affrc.go.jp

9. その他

参加申込みについては農研機構東北農業研究センターのホームページで案内する。

<https://prd.form.naro.go.jp/form/pub/naro01/onion2025>